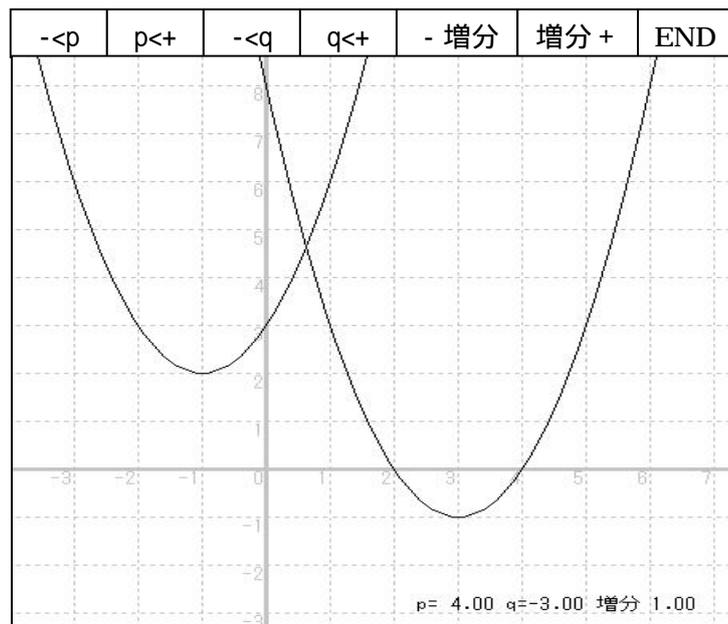


「T1p069RD2.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC  
ユーザープログラム 「T1p069RD2.bas」
2. 対応分野 : 東京書籍 数学 p69 放物線の平行移動  
例題2 2次関数  $y=(x+1)^2+2$  のグラフをどのように平行移動すれば、  
2次関数  $y=(x-3)^2-1$  のグラフになるか。
3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後、「開く」「実行」と操作すると  
(1)  $y=(x+1)^2+2$  のグラフ(既定値)が表示される。増分の既定値は0.02である。
4. 操作 :



- (1) 画面上のボタンをマウスでクリックする。
- (2)   はpの値を、  はqの値を増減させる。
- (3)   は増減量を変化させるロータリースイッチである。
- (4)  で終了する。
5. 目的 :
- (1) 目的の2次関数  $y=(x-3)^2-1$  になるまでの平行移動量を視覚的に求めさせる。
- (2) 一般の2次関数のグラフを平行移動させることにより、平行移動についての理解を深める。
6. 利用時期 :
- (1) 例題2(問13)指導時  
機械的に、頂点の座標を比較させたり、平行移動の公式  $y-q=f(x-p)$  を当てはめて計算により考えさせるのではなく、体験的に操作することによって、理解を深める。  
教師が前で教材提示する使用法と、コンピュータ教室で各自が操作し、その性質を理解していく方法などが考えられる。
- (2) 指導後の追認作業として用いても良い。
- (3) 問13「T1p069TO13.bas」が用意されている。